

植樹式 2007



時の蘇生・柿の木プロジェクト

2月26日		東松山市立唐子小学校 日本・埼玉県・東松山市	1
3月8日		東松山市唐子中央公園 日本・埼玉県・東松山市	2
3月21日		クリスタル・パレス・ガーデン ポルトガル・ポルト	3
3月		墨俣一夜城 日本・岐阜県・大垣市		
3月		大垣市上石津緑の村公 日本・岐阜県・大垣市		
3月		大垣市立牧田小学校 日本・岐阜県・大垣市		
3月		大垣市立一之瀬小学校 日本・岐阜県・大垣市		
3月		大垣市立多良小学校 日本・岐阜県・大垣市		
3月		大垣市立時小学校 日本・岐阜県・大垣市		
3月		浅草ひかり保育園 日本・岐阜県・大垣市		

東松山市立唐子小学校

🇯🇵 日本

📍 埼玉県・東松山市

🌱 2007年2月26日

東松山市は、「地域と自然の再生」をテーマにホテルの里づくりをすすめるなど、地域住民とともに積極的に環境保全に取り組んでいます。ホテルの里づくりが実施されている唐子地区は、打木村治の児童文学『天の園』の舞台であり、創立130年余の長い歴史をもつ唐子小学校、唐子中央公園、そして原爆の図丸木美術館があり、環境や平和について学ぶことができる貴重な資源に恵まれています。

2005年、東松山市役所環境保全課の加藤敏彦さんは、NHKニュースでハラミュージアムアーチ植樹の様子を見て、柿の木プロジェクトを知り、地域の子どもたちが関わるができるプロジェクトということで、申し込みをしてみました。市内の小学校の中、丸木美術館に近い唐子小学校が植樹場所として選ばれました。東松山市役所と唐子小学校の3年生は、1年かけて柿の木を迎える準備をしてくれました。植樹に先立つ2月8日には、原爆の図丸木美術館の方々による「出前ワークショップ」が小学校で行われ、アーティストの万年山えつ子さんと子どもたちは、「ホテルの里づくり」の竹林から市民ボランティアの方々から切り出した竹に柿渋を使って、思い思いの絵を描きました。

植樹式当日は、校長先生、宮島達男の話、海老沼先生のメッセージの後、柿の木ふろしきの贈呈が行われました。東松山市役所の方、ワーク



ショップを実施してくれたアーティストの万年山えつ子さん、木谷安憲さん、唐子地区の代表の方の挨拶に続き、3年生の子どもたちが柿の木の名前「かきっこ柿太郎」と「かきっこ空太」を発表しました。子どもたち全員が順番に柿の木に土をかけていきました。さらに子どもたちは柿の木のまわりに、半円形で囲うようにワークショップで制作した竹を並べ、たてていきました。並べられた竹に描かれた絵はとても美しいものでした。最後に3年生の代表からメッセージが披露されました。こうして、市・学校・美術館、そして地域の方々が協働するプロジェクトが始まり、東松山市では、その後も様々な活動が進行中です。

東松山市唐子中央公園

🇯🇵 日本

📍 埼玉県・東松山市

🌱 2007年3月8日

東松山市は、「地域と自然の再生」をテーマにホテルの里づくりをすすめるなど、地域住民とともに積極的に環境保全に取り組んでいます。ホテルの里づくりが実施されている唐子地区は、打木村治の児童文学『天の園』の舞台であり、創立130年余の長い歴史をもつ唐子小学校、唐子中央公園、そして原爆の図・丸木美術館があり、環境や平和について学ぶことができる貴重な資源に恵まれています。

2005年、東松山市役所環境保全課の加藤敏彦さんは、NHKニュースでハラミュージアムアーク植樹の様子を見て、柿の木プロジェクトを知り、地域の子どもたちが関わるができるプロジェクトということで、申し込みをしてみました。市内の唐子小学校とともに、市民が集う唐子中央公園が植樹場所として選ばれました。

午後の植樹式に先がけて、午前には、唐子小学校の体育館で、全校生徒が参加し、校長先生、海老沼先生の話を行いました。また、唐子公民館では東松山市民を対象に海老沼先生と宮島達男の講演会を行いました。唐子小学校の3年生2クラスが、唐子中央公園に移動し、唐子中央公園の植樹式に参加しました。子どもたちは2人1組で、事前の原爆の図・丸木美術館の出前ワー

クシヨップで制作した柿渋で絵を描いた竹を立て、植樹式の準備を行いました。



植樹式は、唐子地区ハートピアまちづくり協議会の鈴木会長の挨拶ではじまりました。関係者の紹介の後、唐子小学校の代表の子どもから柿の木の名前の発表がありました。唐子中央公園の公園の柿の木は「かき太郎」です。桃太郎のように強くたくましく育ててほしいという思いがこめられています。子どもたちは土をかけながら、「元気に育てね！」と声をかけていきました。さらに子どもたちから大人たちへ柿の実おりがみのプレゼントがあり、最後にお祝いの歌として唐子小学校の子どもたちによる「線路は続くよ」の替え歌で、「平和のひびき」が振り付きで披露されました。子どもたちの元気いっぱいの歌声が響き渡る素晴らしい植樹式となりました。

その後も唐子小学校では、1年に数回の柿の木プロジェクトに関連したワークショップが続けられています。



クリスタル・パレス・ガーデン

 ポルトガル

 ポルト

 2007年3月21日



1978年以來、ポルトガルのポルト市と長崎市は姉妹都市となっています。姉妹都市の象徴として、また原爆のことを記憶にとどめ、核兵器廃絶の戦いにおいて長崎市との連帯を表明するために、在ポルトガル日本大使館を通して、ポルト市から植樹の申し込みがありました。植樹場所のクリスタル・パレス・ガーデンは、市内中心部で最大の庭園であり、庭園のまわりには、コンサートやスポーツの試合などが行われるスポーツパビリオン、アルメイダ・ガレット市民図書館、レストランなどがあり、ポルト市の美しい樹木や、湖を眺めながら散歩を楽しむためにやってくるポルト市民でにぎわう場所です。

植樹式に先がけ、2月には折り紙の折り方を知っている方が、小学校の先生に鶴などの折り方を指導し、その後、小学校では、指導を受けた先生たちが子どもたちに折り紙を教えました。また幼稚園の子どもたちには劇や影絵をつかって、原爆のこと、平和のこと、「サダコの物語」のことを先生方が教えました。約10校の小学校と5つの幼稚園で、たくさんの子どもたちが参加し、何日もかけて柿の木を迎える準備をしてくれました。

3月21日の植樹式当日は、600人以上もの市民が参加しました。子どもたちは「千羽鶴」の歌を歌ってくれました。市長の挨拶、海老沼先生のメッセージ、リスボンの日本大使館からのメッセージも紹介されました。また、3歳から10歳までの子どもたちが制作した折り紙や絵などの展示も同時に行われました。広い庭園に集まった子どもたちの代表が、自分の背と同じくらいのシャベルで柿の木に土をかけ、柿の木を植樹しました。

この日の植樹式は、ポルトガルの全国ネットのテレビや新聞で紹介され、子どもたちが折った千羽鶴はその後長崎市へ送られました。

